

■大学の教育の基本方針、教育目標

【教育の基本方針】

清泉女学院大学は、キリスト教精神に基づいて、「生きる指針となる真実と価値を探究しながら、社会における自らの使命を認識し、他者のために貢献できる人材」を育成することを教育の基本方針とします。

【教育目標】

わたし達は、ここに集う学生が、自分自身の可能性を最大限に活かし、その力を社会のために使い、有意義な人生を送れるよう手助けすることを教育の目標としています。そのために、清泉の理念に裏付けられた3つの教育目標「全人教育、共生のこころ、コミュニティとともに」のもとに教育活動を行っています。

- ① 全人教育：わたしたちが1人の自立した人間として生きるとはどのようなことでしょうか。断片的な知識の継ぎ合わせでは把握することのできない、人生全体に及ぶ「人として生きる意味」を見出し、その意味のもとに、自らの人生を設計し、実現する力を養います。
- ② 共生のこころ：建学の理念であるキリスト教の中心メッセージ「自分を愛するごとく他者を愛せ」に基づいて、他者のために生きることによってこそ生きる自分を発見し、他者を思い、他者をいたわり、他者のために生きる人生のあり方を探り、そのような人生に喜びを見出すことのできる人間性を養います。
- ③ コミュニティとともに：人は抽象の世界ではなく、具体的コミュニティの中で生きています。大学での生活・教育を通じて身につける人間力と専門力を基盤にして、自分が身を置くコミュニティの中で、そこにかかわる人々と共に、そのコミュニティを活かし、発展させることを考え、実践する力を培います。

以上の教育目標の実現を通して、わたし達は、清泉女学院大学で学ぶ皆さんが「自分を高め、他者のために考え、行動できる人間」として、自立した社会人となっていくように支援しています。